

#### (4) 調査結果

G 地区は調査地域のほぼ全域が林内であり、徒歩や車両での通行が可能な場所は既存道路景観区及び林道景観区であったことから、主要な眺望点が既存道路景観区及び林道景観区沿いに設定されている。眺望状況としては図 6.1.6-3 に示すとおり、主に林道沿いに裸地路傍草地景観区が分布し、両側にイタジイ-リュウキュウチク景観区が分布している。着陸帯は平成 28 年 12 月、G 進入路は平成 29 年 9 月に完成しており、イタジイ-リュウキュウチク景観区から裸地路傍草地景観区へと変化していた。

N-1 地区は調査地域のほぼ全域が林内であり、徒歩や車両での通行が可能な場所としては林道景観区となっていたことから、主要な眺望点として林道景観区沿いに設定されている。眺望状況としては図 6.1.6-4 に示すとおり、主に林道沿いに裸地路傍草地景観区が分布し、両側にイタジイ-リュウキュウチク景観区が分布している。着陸帯は平成 28 年 12 月に完成しており、イタジイ-リュウキュウチク景観区から裸地路傍草地景観区へと変化していた。また、既存道路の一部区間については別事業の工事により沿道の伐採が行われ、裸地-路傍草地景観区へと変化していた。

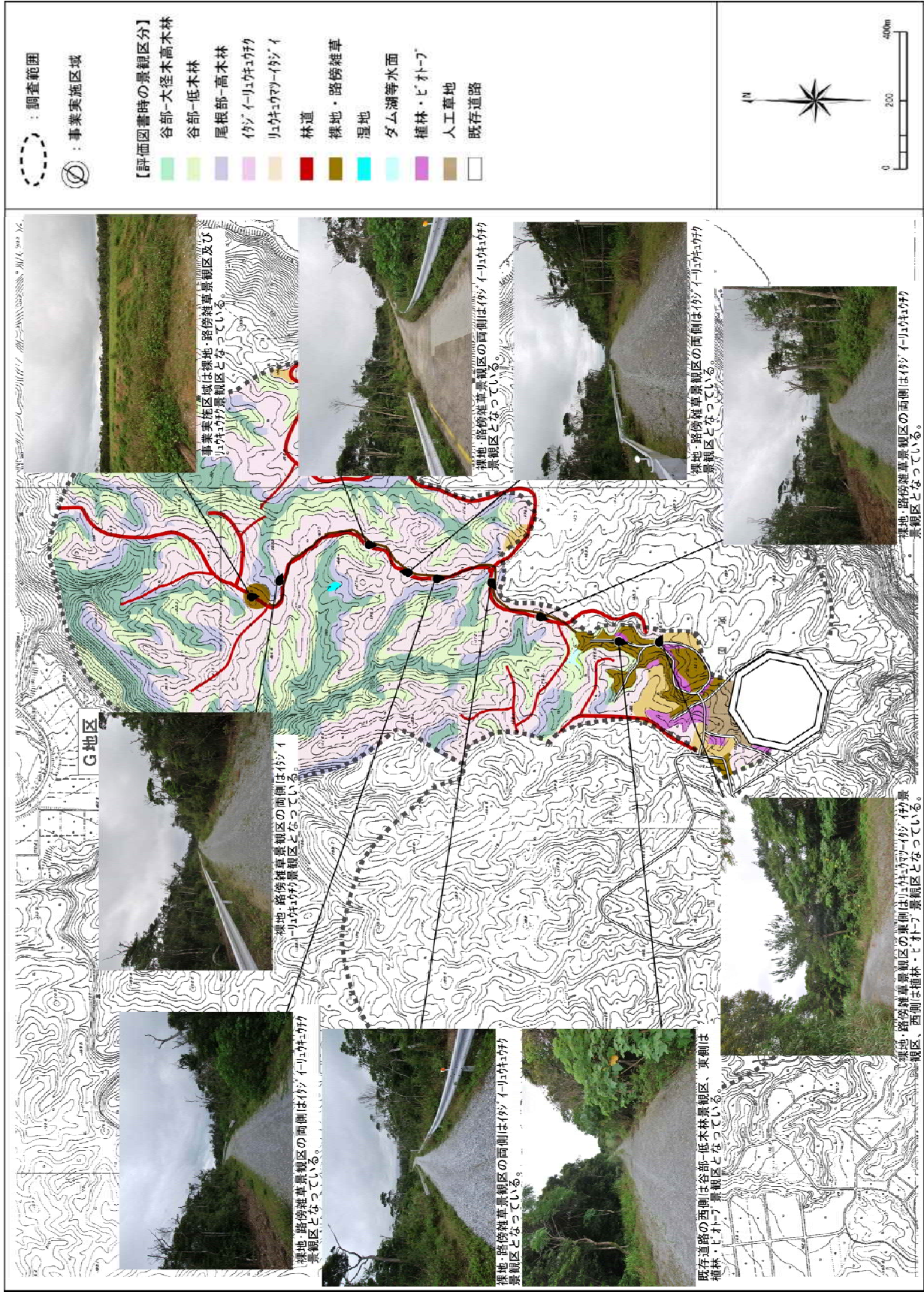


図 6.1.6-3 G地区における眺めの状況（令和2年：春季）